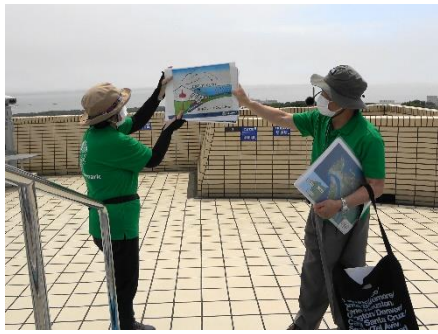


# 銚子ジオパーク認定ガイド養成講座 『ガイドのノウハウを学ぶ』を受講して

越川 奏一

認定ガイドを目指す人のための模擬ガイドツアーが6月27日に開催されました。新型コロナウイルスの影響でツアーが出来ない状況になったため、認定ガイドになるための条件である「実際のジオガイド現場の見学等によりガイドのノウハウを学ぶこと」が出来ない状態でした。そこでこの基準を達成するために認定ガイドを目指す対象者が参加できる機会を特別に設け模擬ツアーの開催となったのです。今回の受講生は5名でした。



8時45分に地球の丸く見える丘展望館入口に集合し、推進協議会事務局の岩本専門員よりガイドする時の心構えなどの話があり知識の押し売りにならないように気を付けることや、時間を守ることなど実際にガイドする時の注意の指導がありました。

愛宕山エリアでのガイド役は、小玉さん、パネル係は向後さん、時間係は越川が担当しました。時間係はガイドさんがガイドに熱中して時間を忘れないように、お客様の後方に立ち経過時間のパネルや終了予定5分前、終了時間のパネルをさりげなく表示してガイドをサポートする役目です。こんなことが行われていたことは知りませんでしたのでガイドするときの優しい心遣いを知ることが出来ました。その後

浦では川原さんがガイド役となり有意義な体験とともに模擬ツアーは終了しました。大吠埼では、船舶・飛行機の航路変更点が大吠埼の沖合や上空であるというガイドが新鮮でした。浅海堆積物中の「ワニの目」に初めて案内され、自然の力に感動しました。

現地観察と解説の場所は、銚子を代表する二地点、地球が丸く見える丘展望館屋上デッキ、大吠埼、屏風ヶ浦で、ガイド役は、小玉さん、伊藤さん、川原さんでした。展望館入口で、ガイドへのお願ひがあり、①目の前の風景を楽しんでもらう ②時間を守る ③人・表情をみてニーズに答える ④メッセージとストーリーとの関連性を楽しく話す等、ガイドの心構えを事務局のお二人から、丁寧な説明をうけました。屋上デッキでは、銚子半島の日本海溝と黒潮、下総台地が屏風ヶ浦まで連続する

地形、大陸から一番旅した銚子についての解説が新鮮でした。大吠埼では、船舶・飛行機の航路変更点が大吠埼の沖合や上空であるというガイドが新鮮でした。浅海堆積物中の「ワニの目」に初めて案内され、自然の力に感動しました。



屏風ヶ浦では、海食崖のでき方、酸素同位体比曲線図での氷河性海面変動の説明の難しさを知り、新第三紀と第四紀の境界のある縞々地層をどう解説するのかを考えました。

小川さん、岩本さん、市民の会の工藤さんほか大勢の方が、すでに汗を流されています。屏風ヶ浦は時には富士山とコラボし、その昔、銚子観光の最終地点として、浮世絵にも描かれました。東洋のドーバーともいわれる、雄大で美しい地層を表すこの屏風ヶ浦は、理科の教科書にも載りました。しかしながら、近年、消波堤設置により、その身を削ることはなくなりましたが、ところ処、草木が繁るのが見られます。名勝、天然記念物と指定さ

## 名勝・天然記念物 屏風ヶ浦崖下の草刈り

向後 和子

梅雨がまだ明けぬ7月25日、推進協議会事務局の呼びかけで、市民の会が参加し、総勢16名が名洗ガーンネツト層観察地点の草刈りを行いました。私が着いた朝9時には、推進協議会事務局の

9月5日(土) (午前9時15分から) から26日(土)までの毎週土曜日に勤労コミュニティセンターで銚子ジオパーク講座(銚子ジオパーク推進協議会主催)が開催されます。本講座は今年で5回目となり、「大地」「自然」「人のくらし」とこれらの繋がりをテーマとし、銚子の大地の秘密、銚子の海に生き物や食、観光など様々な分野の先生方をお招きしお話を伺い、より深く銚子の魅力を知っていたく機会になるかと思えます。詳しくは、銚子ジオパーク推進協議会事務局(電話0479-21-6667)までお問い合わせください。

令和2年度  
銚子ジオパーク講座が  
開催されます!  
(編集部)